

# 令和3年度(2021年度)熊本市生物多様性推進会議

## 議事録

日時:令和4年(2022年)3月25日(金)15:00~17:00  
Web会議(Microsoft Teams)+会議室(上下水道局別館3階会議室4)

### 1 開会

- ・部長挨拶
- ・定足数報告(10名全員出席)
- ・出席者紹介(委員以外、熊本県自然保護課がオブザーバーとして参加)
- ・傍聴者紹介(傍聴者1名参加)

### 2 議事

#### (1)委員長互選

【事務局(環境共生課) 田尻課長補佐】

熊本市生物多様性運営要綱第5条第2項では「委員長は、委員の互選により定める」と規定されています。どなたかご提案などございませんか。

【大住委員】

今までの経緯がわかっていること及び、人格から石黒委員を推薦します。

【高宮委員】

以前から、会議に参加されている方がいいかと思う。また、生物多様性戦略には熊本県と熊本市での連携・協働が重要と考えており、県の委員長も務められている、石黒委員に就任いただくのがいいのではないかと思います、推薦します。

【事務局(環境共生課) 田尻課長補佐】

異論はないでしょうか。

【委員各位】

(異議なし)

【事務局(環境共生課) 田尻課長補佐】

それでは、新委員長は石黒委員にお願いいたします。石黒委員長、ご挨拶をお願いいたします。

【石黒委員長】

荷が重いが、熊本市の生物多様性戦略の充実のために環境共生課と協働で作り上げていけたらと思うので、各委員皆様のご協力をお願いします。

【事務局(環境共生課) 田尻課長補佐】

次に、熊本市生物多様性運営要綱第 5 条第 4 項では「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名するものがその職務を代理する」と規定されている。石黒委員長、どなたかに代理の指名をお願いします。

【石黒委員長】

熊本県希少野生動植物検討委員会では高宮委員に副委員長をお願いしているので、本会議でも高宮委員をお願いしたいが、よろしいでしょうか。

【委員各位】

(異議なし)

【高宮委員】

今回から初参加で、重大な任務だと思うが、できる限り協力します。

【事務局(環境共生課) 田尻課長補佐】

それでは、これからの進行は石黒委員長をお願いします。

## (2) 生物多様性戦略の改定について

【石黒委員長】

それでは、議事(2)生物多様性戦略の改定について事務局から説明をお願いします。

【事務局(環境共生課) 北村】

資料2に基づき説明

【石黒委員長】

質問や意見がある方はいませんか。いたら挙手をしてご発言ください。

【大住委員】

30by30 の目標である陸域、海域の 30%が、どの程度か感覚的にわからない。江津湖の開発もどんどん進んでおり、農地も減少している現実の中で、今よりどのくらい保全すればいいのか。

【事務局(環境共生課) 北村】

現在、日本国土の陸域 20.5% (その内約 14% が国立公園や国定公園などの自然公園)、海域 13.3% が保護地域として保護されている。

感覚的などころで参考を一つ挙げると、熊本市の緑被率(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地)は約 32%。今後、熊本市としても OECM の選定基準を満たす地域については OECM 認定を目指していく。

【永野委員】

熊本市の緑被率 32% について、これは非常に歴史が古く、他県と比べても低い値。街並みに木々を植えるには賛否両論あると聞いている。一方、皇居や明治神宮などは植え込みをしっかりと管理し、緑を保っている。昨今、木々が伐採されたり、水資源についても、中国からの企業が日本の水を探しに来ていると新聞等でも報じられている事実がある。熊本市の条例についても考える時期に来ているのではないかと。

【石黒委員長】

今すぐに回答できる内容ではないと思うので、永野委員の意見を踏まえて、今後検討いただきたいと思う。

【石黒委員長】

他に何かありませんか。

【奥村委員】

30by30、OECM に関して、緑を残して保全していくという考えは理解できるが、緑の量だけではなく、緑の質も考慮して残していくことを望む。

樹木匠として街路樹の維持管理を行っているが、市民から木を残して欲しいという声もあるし、迷惑だから切ってほしいという声もある。市民の声は様々だし、緑の種類も様々。いろんな調整をしながら維持管理を考えてほしい。

【石黒委員長】

その他、委員から事前にいただいた質問で何かないか。

【事務局(環境共生課) 北村】

大住委員からの事前に頂いたご意見。「戦略の達成に策定委員の取組も問われていると思う」について説明をお願いします。

【大住委員】

会議は議論して終わり。しかし、何かしなければならぬとはずっと思い続けている。

### (3) 令和3年度(2021年度)熊本市生物多様性関連事業実施状況について

【事務局(環境共生課) 北村】

資料3-1に基づき説明(資料3-2、3-3は補足資料)

【甲斐原委員】

資料3-2、3-3はこの後、別途説明するのか。

【事務局(環境共生課) 北村】

資料3-2、3-3についての説明は省略。事前配布した時点で見えていただいて、気になるところを質問していただく形式を想定している。

【甲斐原委員】

・アライグマの捕獲情報については市のHPでも情報を得ている。  
・熊本市でのモニタリングサイト1000調査については金峰山、立田山以外の地点の拡大傾向がない。①他に調査しているところはないのか。②調査を団体などに紹介などしていないのか。

【事務局(環境共生課) 北村】

①熊本市内ではNPO法人コロボックルプロジェクト(カヤネズミ・ホタル類)、立田山自然探検隊(アカガエル)、貝類調べ隊(陸産貝類)がモニタリング調査を実施していることを把握している。モニタリングサイト1000ではないが、熊本市主体としてとしてはセミ調査を2019年から実施中。来年度は八景水谷公園でのホタル類調査を実施予定。まずは江津湖同様、街灯の消灯を実施して環境づくりから始めていく。その他、タンポポ調査も実施予定。

②調査の実施にあたってはいきもんネットを活用して、協力を依頼させていただきたい。

【甲斐原委員】

八景水谷公園のホタル調査には大賛成。専門家や博物館はじめ、ネットワークの人材を活用できると思う。

【奥村委員】

チョウ類もモニタリング調査の候補種に追加してほしい。理由としては2つ。1つは温暖化の進展に伴い分布地域の変化が見られるため。2つめはチョウ類は目立ちやすく分類・同定資料が充実しているため。

【事務局(環境共生課) 北村】

熊本市が 5 年ほど前に指標種モニタリング調査の実施に際して、指標種を選定する段階で、里地里山の指標としてスジグロシロチョウが候補として挙げたことはある。(しかし、優先的な調査種としての選定は見送られ、今後調査種を拡大していく中での候補種となっている。)モニタリングサイト 1000 の調査マニュアルにもチョウ類はあるので、それを活用して調査できないか検討してみる。

【菌畑委員】

いきもんマップについて、何をどの範囲まで公開するか検討中とあるが、トダスゲやサワトラノオは熊本県でもここにしか残っていないので、公開については、盗掘などの可能性があるのを避けてほしい。

【事務局(環境共生課) 北村】

承知しました。

【菌畑委員】

立田山のトダスゲ・サワトラノオは県の生息地等保護区に指定され、保護されているが、江津湖のヒラモやヒメバイカモ、キタミソウなどは市の条例等で保護されているのか。

【事務局(環境共生課) 北村】

ヒラモは環境省や県によって移植され保護されている。ヒメバイカモは柵で囲って保護している区画がある。しかし、十分に保護活動が行われていないのが現状。なお、水前寺江津湖公園は都市公園条例で生き物の捕獲・殺傷が禁止されている。

【大住委員】

・現実には、江津湖にもヒメバイカモが繁茂していたところがあって、これが増えていくといいねと言っていたが、一晩で無くなった。カモが食べても次の年には出てくるので心配してないが、人が根こそぎ採ったものは次の年には生えてこない。

・担当部署の連携で公園課も入れてほしい。理不尽な利活用が行われ、前回の都市緑化フェア後には下江津湖は汚くなった。今回は、まだ変化は見えないが、立田山が整備されて、以前は見られた植物や野ウサギがフンをした場所がなくなった。美しいことに対する共通認識をもつ議論の場を設けてほしい。そうでないと生物多様性は絵空事で終わってしまう。

【事務局(環境共生課) 北村】

市役所内で熊本市生物多様性庁内推進会議という会議体があり、そこには公園課も含

まれている。今回の推進会議で委員の方々から出た意見も、その庁内推進会議の場で関係各課に周知し、共有していく。

#### 【石黒委員長】

田畑の水路がコンクリート三方張りになったことで、生きものが減ったと聞く。その点について教えてほしい。

#### 【永井委員】

維持管理の面で、土水路だと農作業がしにくく三方張りになっている。しかし、農業土木の分野や我々の地区では環境配慮(魚道や漁礁ブロック)を事業の中でやっている。緑化フェアが行われるが、今の江津湖の水位は湧水量が減っていて恥ずかしい。お米を食べてもらわないと生物多様性は守れないというのが持論。水田を残すことで、湧水量を保つことが大事。維持管理の面で、省力化のために護岸工事が行われていたり、米だけではやっていけないため、排水・用水を分けて畑作物を作って乾田化を図っている経緯がある。そういうこともあって、農業関係で生きものがいなくなったという背景はある。

#### 【高宮委員】

- ①植物について、熊本市の合併前の調査しかできていない。合併後の生きもの調査や目録作りを行い、次期戦略には反映させるべき。
- ②生物多様性の認知度について、年齢構成によって変わると思う。アンケートの集計方法を教えてほしい。

#### 【事務局(環境共生課) 北村】

- ①次期戦略策定の際には新しいデータに更新していく。
- ②年に1回、住民基本台帳から無作為抽出した 3000 人を対象にアンケートを取っている。しかし、回答率は低く、年代による回答のバラつきもみられる。アンケートを実施している環境政策課とも話し合っ、アンケート集計方法の改善にもつなげていく。

#### 【毛利委員】

生物多様性を伝えるのは難しい。子どもたちにもピンとくるようなシンプルな言い回しを考えるのがいいのでは。

#### 【甲斐原委員】

3000 人アンケートは公的なアンケートだと思うが、一つの提案として、いきもんネットを対象にアンケートを取るといいのでは。環境共生課で何かアンケートは実施していない

のか。

**【事務局(環境共生課) 北村】**

令和2年度に生物多様性シンポジウムを実施した際に、生物多様性の認知度アンケートは実施した。シンポジウムにはいきもんネット登録団地や自然環境に関心ある人が主に参加していたため、当然、認知度は高い値だった。

**【奥村委員】**

生物多様性を子どもたちに説明するときは、チョウの標本を示して説明している。チョウがどんな環境にいるのか、どんな植物を食べるのか、雄雌の違いなど、言葉だけではなくモノとして見せて認識させると興味を持ってくれる。

**【事務局(環境共生課) 北村】**

市民参加型セミ調査などを行うときは、各種のセミが比較できるクリアファイルを作製して配布している。ノベルティグッズなどを活用してわかりやすい広報や普及啓発をしている。

**【永井委員】**

SDGsとの関連性を持たせてPRするといいいのでは。

**【事務局(環境共生課) 北村】**

先ほど話した3000人アンケートでも「生物多様性」より「SDGs」のほうが認知度は高い値を示している。環境共生課でも水と森に関してSDGsに関わる事業を行っている。今後も関係各課と連携してSDGsと絡めた広報活動に努めていく。

**【永野委員】**

問題は山積だが、今後のことを考えると子どもたちに認識してもらうことが大事。子供たちに絵や言葉で表現してもらうと浸透するのではないか。私たちが子どもの頃はトンボやチョウを捕まえていたが、今は環境が壊れて難しいので、チョウの標本などは珍しく感じるのではないか。

**【大住委員】**

うちの会では「生物多様性と私たちの暮らし」という視点で伝えている。生物多様性とはモノがたくさんあるということではなく、これが途切れると暮らしていくことが出来ないと伝えている。生物多様性という言葉を変えたいのか、生物多様性という言葉から何を伝えたいのかの問題。その点、SDGsは見事に「誰一人の取りこぼしもなく」という理念を

まず伝え、どの分野にも SDGs は当てはまると叩き込み、浸透した。一方、生物多様性は種の多様性ぐらいの認識しかないまま伝わってきた。お茶碗の模様も、カモノハシのくちばしをモチーフにした新幹線も生物多様性。

【甲斐原委員】

子どもたちが小さいころから親子で自然体験、農体験、食体験を行うこと。そのような体験が身体を通して、生物多様性の理解につながると思う。

【石黒委員長】

いろんな意見が出て、まとめるのは大変かと思うが、一本のきちっとした芯ができれば、枝葉は委員の方々の知識でカバーできると思う。

【石黒委員長】

その他、委員から事前にいただいた質問に対する回答などありますか。

【事務局(環境共生課) 北村】

菌畑委員からいただいた質問「スパルティナ属の状況について教えてほしい」について回答させていただきます。

スパルティナ属は日本では山口県と熊本県にのみ生息する特定外来生物。熊本県では坪井川、白川、大野川、砂川の 4 河川で確認されており、大野川以外では防除が完了してモニタリング調査中、大野川は今後も防除実施予定。また、令和 3 年度には玉名市の唐人川で確認されている。

特定外来生物の侵入監視は大事だと思っているので、熊本市としても、国や県と協力してヒアリやツマアカスズメバチの侵入を防ぐ監視を継続していく。

【石黒委員長】

生物多様性と一言でいっても理解が難しいことは、委員の方々も普段の活動から痛感していることだと思う。今後、次期戦略としてまとめるときには会議の中で検討していくべきだと思うのでよろしくお願いいたします。

### 3 その他

【石黒委員長】

予定していた議事はすべて終了しましたが、事務局から何かありますか。

【事務局(環境共生課) 吉田課長】

チラシにより全国都市緑化くまもとフェアの紹介。

【石黒委員長】

それでは、進行を事務局にお返しします。

【事務局（環境共生課） 田尻課長補佐】

本日、委員の皆様にご意見を評価に反映させる予定です。また、今回お答えできなかった質問については議事録と併せて回答させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

4 閉会

以上